

いで油川方面で「ふぐ」「かながしら」「かぐみ鯛」等を採集したが、五月二日には東津輕郡一本木から兼ねて依頼して置いた魚が集まつたと云ふ電報が来たので、三日朝出發モーターで受取りに行き、四日午後三時生簗二艘の魚を曳いて歸て來た。五日には縣の水産試験場から「あざらし」が來て大方水槽もいづばいになつたので五月七日に開館した。

開館以來の事としては五月十日に久栗坂の建網で「たら」が三尾とれ、水槽に入て一俵觀を呈した。五月二十一日に「ぶり」及び「うまづらはぎ」が始めて採れ、六月十一日に本年始めての大鯖が水槽に入れられ、六月二十二日には九艘泊から「たい」と「いか」が來て水槽も頗る賑かになつた。

六月二十五日には文部省から水族館及び實驗所の映畫を作る爲めに監督中川氏及白井技師が來所され、屋外に大水槽を作て魚類の游泳狀態及他の海産槽物を撮映した。

新 著 紹 介

(1) DE BEER, G. R. 1926. An Introduction to Experimental Embryology, Oxford University Press, \$ 2.50.

昨年の四月に書かれたものであるが市場へ出初めたのは最近であるらしいのでこゝに改めて紹介する次第である。近年の實驗發生學の著しい發展の爲手頃の纏つた本の無い事は我等初學者にとつて不自由に感じられて居つたが本書は簡單ではあるが稍その缺陷を補つて呉れる。著者の序文に、此小著は別に實驗發生學の問題を全部取り扱ふと云ふのでは無く只その要點丈を連ねたのである。私は多の實驗中 180 を選んで並べて見た。これが今後の研究の骨子となつて呉れればよいと思ふ丈である。JENKINSON の著出版後 LILLIE の受精、CHILD の axial gradient、SPEMANN の分化に関する業績及其他無尾性の變態に於ける内分泌の作用、組織培養、移植などの實驗が發表されたのでそれ等を収録した。ただ性の決定と發達に関する部は GOLDSCHMIDT 及び CREW の著があるから故意に省いた云々。

僅か 150 頁の小冊子ではあるが簡單にして實に要領を得てゐる。殊に卷末にある例の 180 の實驗の表の如きは仲々よい思ひ付きであつて、實驗のテーマと實驗者と所載誌名の三項が順序よく並べてあるから一目瞭然最近の實驗發生學界を通覽することが出来る。將來此の道に志す人は持つてゐてよい本である。然し量の割合に二弗五十仙はちと高すぎる感がある。(平 岩 馨 邦)

(2) PATTEN B. M. 1927. The Embryology of the Pig, P. Blackiston's Son and Co., Philadelphia, \$ 3.50.

最新刊の豚兒發生の教科書。シカゴの例の有名な屠殺場から無盡藏に豚兒を供給する爲めかアメリカの各大學では脊椎動物の發生の材料として Chick と Pig とを併用して居るのでその爲め手引として編まれたのが本書であらう。LILLIE の Chick のそれには及びもつかないが 323 頁のもので要領よく書いて

あるので相等に歓迎されてゐる。挿圖總計 168。卷末に 270 計りの文献が各部類分けになつて附いて居る。(平 岩 馨 邦)

(3) AREY. 1925. Developmental Anatomy: A Textbook and Laboratory Manual of Embryology, W. B. Saunders Co. (Philadelphia and London), \$ 5.50.

1915 年に出て廣く用ひられて居た PRENTISS と AREY の A Laboratory Manual and Text-book of Embryology の改題に AREY 一人で出版したもので賣價が \$ 3.50 から \$ 5.50 になつて居るが内容は殆んど同じで挿圖も舊版のことをその儘襲用して居る。

新版の内容は一般發生、器官發生、發生學の實習法の三部に分れ第三部は Chick と Pig の二部に分れ居る。挿圖の數 419、頁數 433。(平 岩 馨 邦)

雜 報

日本動物學彙報寄稿注意

- (1) 日本動物學彙報は英、佛、獨、及びエスペラントのうち何れかの語にて書かれたる原著を可成迅速に出版す。
- (2) 原稿は簡潔にして修正を要せずして出版し得る状態なるべきこと。原稿は可成タイプライトされたし。掲載は現着順とす。
- (3) 論文末の文献表は本誌十一卷現刊のものゝ體裁によられたし。
- (4) 挿圖及び圖版の原圖は可成亞鉛凸版に製作し得るよう、墨汁にて描れたし。圖版は枚數により製作費を著者負擔とすることあるべし。挿圖及び圖版の原圖には縮寫を要する場合には縮寫後の倍率を附記せられたし。
縮寫したる挿圖は縦四寸五分幅三寸四分を超へざること。圖版の大きさは可成縦五寸三分幅三寸六分を超へざること。
挿圖を入れるゝ適當なる場所を原稿に指定せられたし。
- (5) 原稿は返戻せず。挿圖及圖版の原圖の返戻を希望の方は原稿に明記せられたし。
- (6) 別刷五十部は會より著者に進呈す。五十部以上は印刷實費を申し受く。別刷御入用の部數を原稿に明記せられたし。
- (7) 本誌掲載の論文摘要は編輯委員より Biological Abstracts に寄稿す。それ故著者より直接に上記雜誌に摘要を送らるゝ必要なし。
- (8) 原稿及び原圖は書留郵便にて東京本郷大學動物學教室谷津直秀宛のこと。